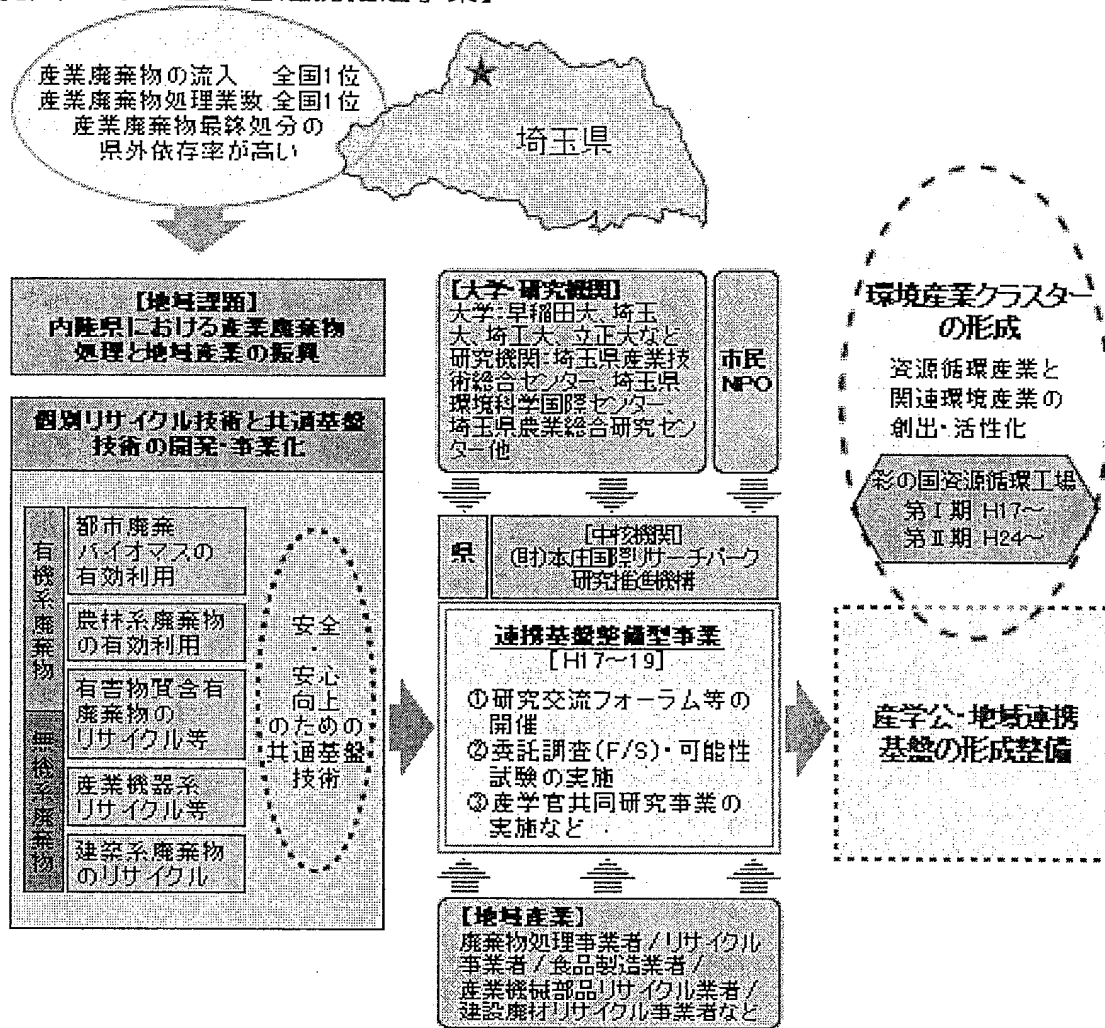


【都市エリア産学官連携推進事業】



〔共同研究施設の利用状況〕

彩の国資源循環工場には、産学官連携などの研究に活用するための施設として、共同研究オフィスを設置しています。

現在までの利用状況については、主に、環境科学国際センターが埋立に關して行っている実証試験のみとなっています。

今後、事業者が研究開発への取組みを進めていくなかで、活用されていくものと考えられますが、有効に活用されるよう産学官に働きかけていくとともに、有効な仕組みを検討していく必要があります。

(3)環境産業の経営環境

ア 事業者を取り巻く経営環境

廃棄物処理やリサイクル事業は、経済活動として、市場の動向や変化する経営環境に対応し、事業展開を図っていかねばなりません。

資源循環工場の実業者に、現在の資源循環工場をとりまく経営環境などについて尋ねたところ、各施設のリサイクルの種類などによって異なるものの、主な意見としては、